

愛宕坂だより



春号 No.72 2023.4.20

発行:福井市愛宕坂茶道美術館·福井市橘曙覧記念文学館

福井市愛宕坂茶道美術館 企画展

ふりちゃ

振茶

開催中~5月14日(日)

令和 2 年 3 月に新型コロナウイルス感染症の影響で、ほとんど開催することができなかった、令和元年度特別展「日本茶々茶 お茶紀行 振茶の里を訪ねて」を、企画展「振茶」として、再び開催しています。「振茶」初めて聞いた言葉かもしれませんが、「ふりちゃ」と読みます。昔は日本各地に、泡を立てて飲むお茶の習慣がありました。

泡を立てるといっても、抹茶ではありません。番茶や玄米茶など、普段飲んでいるお茶を泡立てます。多くは廃れてしまった習慣ですが、新潟のバタバタ茶や島根のぼてぼて茶など、まだ残っている地域がありま

す。北は新潟から南は沖縄まで、 全国7か所、振茶を大切に守り 継承している人々を訪ねました。

本展では各地の振茶の歴史や 使用する道具について、そして 今はどんな風に飲まれているの かなどなど、詳しく紹介します。 さあ皆さんも一緒にふりふり♪ 振茶を楽しみましょう。





福井市愛宕坂茶道美術館 企画展

りょうふうさつさつ

涼風颯々 夏の茶道具

5月18日(木)~8月27日(日)

茶の湯では、席の装いを炉から 風炉に改めます。炉と風炉とでは 茶の趣が大きく変化します。

本展では、暑い時季に合わせた 茶道具の取り合わせをご紹介しま す。当館の道具たちが運ぶ涼しい 風をぜひ味わってください。



福井市橘曙覧記念文学館 企画展

作家と鳥



開催中~5月21日(日)

春の足羽山では、朝早くからいろんな鳥たちが美しい声で鳴き、かわいらしい姿を見せてくれます。

これまで当館では、作家と「猫」「犬」をテーマに企画展を開催してきましたが、今回は「鳥」に注目しました。曙覧を入り口に、夏目漱石や内田首開、中西悟堂、金子みすゞほか、12人の文

学者たちと鳥にまつわる作品を取り上げています。鳥に魅了された作家たちの小説、随筆やエピソードをお楽しみください。鳥のさえずりに導かれつつ、どうぞ文学館に足をお運びください。



福井市橘曙覧記念文学館 企画展

描かれた曙覧の姿

5月25日(木)~9月3日(日)

幕末の福井で暮らし、歌人、国学者として知られた橘曙覧には写真が残されていません。そのため、曙覧の姿を一番正確に伝えているとされるのは、越智通兄によって生前に描かれた一枚の肖像画です。

没後、曙覧の作品や業績が評価されるにしたが

い、さまざまな姿が描かれ てきました。本展では、現 代までに描かれた曙覧の絵 画、イラストなどを展示し、 あわせて曙覧の子供たちの 写真や、似ていると伝えら れる子孫の写真などをご紹 介します。展示資料を通し、 曙覧の真の姿に迫ることに なれば幸いです。



越智通兄筆橘曙覧肖像画 (当館蔵)

いろいろトピックス

◆美術館 ◆文学館

◆バタバタ茶(新潟県・糸魚川市)のふるまい

3月12日(日)、バタバタ茶の会代表・石田千枝子氏 を迎えて、美術館ロビーでふるまいを行いました。

このお茶を飲むのを楽しみに待っていたお客様もいら っしゃって、バタバタ茶専用の夫婦茶筅を使ってリズミ カルにお茶を泡立てていました。

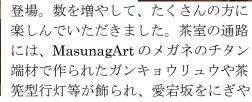
3月26日(日)と4月9日(日)には、館の職員によ る、「富山県・朝日町のバタバタ茶」と「島根県・松江市 のぼてぼて茶」のふるまいも行われ、どちらもたくさん のお客様でにぎわいました。

◆◆2023 春 灯の回廊

3月25日(土)~4月9日(日) までの間、愛宕坂を行灯140基のあ かりで照らす「灯の回廊」が行われ ました。今年は桜の開花が例年より も早く、初日から大勢のお客様が訪 れました。昨年好評だったカラフル

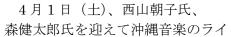


な手提灯は今年も



かに演出しました。期間中、親子を対象にしたワークシ ョップも開かれ、魔法のランプ作りやミニ灯ろう作りな どが行われました。

◆愛宕坂さくら音楽会 2023 「CHANPRU-CHAMBRE 沖縄唄 三線&アコーディオンライブ」





ブを開催しました。さわやかな歌声とどこか懐かしさを 感じさせるアコーディオンの音色に、皆さん聴き入って いました。手拍子を打ったり手踊りをしたりするなどお 客様が参加する場面もあり、楽しいライブとなりました。

◆春のスペシャルマジックショー

4月8日(土)、福井市出身のマジ シャン・松旭斎天一をしのび、当館 では初めてマジックショーを開催し ました。Mr.ソロ氏(福井奇術同好会) と井上僚太氏が出演され、鳩が飛び 出すなど見事なマジックをご披露く ださいました。ご家族での参加も多く、 にぎやかな一日となりました。



一 休館日のご案内 一

休館日:月曜日(祝日の場合は翌平日)

※展示替えのため、下記の期間は臨時休館します。 愛宕坂茶道美術館 5月16日(火)~17日(水) 橘曙覧記念文学館 5月23日(火)~24日(水)

参加者募集のお知らせ

◆古典をたのしむ美文字レッスン(前編) 今年も『源氏物語』を題材に文字の練習をし ます。古典文学をたのしみながら美文字を目指 してみませんか?

とき:6月24日(土)、7月22日(土)、

8月26日(土) 3回連続講座

各回 10:00~11:30

講師:吉水奈方子氏(書道講師)

会場:愛宕坂茶道美術館4階

参加費:各回300円(練習用ペン代含む) 定員:12名(抽選) ※中学生以上対象 申込み:往復はがき、メール、申込みフォーム で受付。必要事項を記入してお申し込みくださ い。①講座名、②住所、③氏名、④電話番号、 ⑤年齢、⑥ご希望の筆記用具(ペンまたは筆ペ ンを選択)。1通につき2名まで申し込み可。

>切:6月1日(木)

◆金継ぎにチャレンジ!

欠けたりひびが入ってしまった陶磁器を、 漆と金粉でよみがえらせます。2回連続講座

とき:7月30日(日)、8月6日(日)

①10 時の部 10:00~11:00

②11時30分の部 11:30~12:30

ところ:愛宕坂茶道美術館4階

定 員:各部8名(抽選)

参加費: 2,000 円 ~ (修理する器の状態、数で 金額が変わります)

指 導: 駒本長信 先生(駒本蒔絵工房)

申込み: 電話、FAX、館メール受付。

希望の時間帯、氏名、年齢、住所、電話番号 をお知らせください。〆切:7月1日(土)

愛宕坂茶道友の会 茶会のお知らせ

と き:5月21日(日)「若葉の茶会」 6月11日(日)「水無月の茶会」

参加費:一般 700 円 友の会会員:500 円

申込みは、一週間前の土曜日、午前9時から 美術館の窓口、電話にて受付。友の会会員の方 は、先行予約があります。

※5月は4階椅子席、6月は茶室での茶会とな ります。詳細については美術館までお問い合 わせください。

愛宕坂だより 春号 No.72 (2023.4.20) ◆福井市愛宕坂茶道美術館

〒918-8007福井市足羽 1-8-5 TEL/0776-33-3933

e-mail:sa-do@do-spot.net

◆福井市橘曙覧記念文学館

〒918-8007福井市足羽 1-6-34TEL/0776-35-1110 e-mail:akemi-t@do-spot.net

